

健康福祉学部キャリア・レポート 成績評価スケール

大分類	小分類	完璧	十分	あと一歩	かけだし
40 形式	10 字数や原稿用紙の使用法等	10 字数が所定の字数に適切に管理され、原稿用紙も標準的な使用法が一貫して守られている。	7 字数はおおよそ所定のものとなっており、原稿用紙も、ほとんどの箇所適切に使用されている。	5 字数について、若干の問題はあるが、原稿用紙は理解に問題のないかたちで使用されている。	3 字数と原稿用紙の使用法の両方に問題がある。
	10 誤字・脱字 適切な表記	10 誤字、脱字がなく、句読点等も一貫したかたちで、標準的用法が守られている。	7 誤字、脱字はあってもわずかで、理解に支障はなく、句読点等もおおよその箇所で用法が守られている。	5 誤字、脱字が若干あるが、おおよそ理解に問題はなく、句読点等についても、理解に支障はない。	3 誤字、脱字が多く、また句読点等も一貫した使用がされておらず、理解に支障をきたす。
	12 表現の適切さ	12 すべての表現が簡潔でわかりやすい表現になっており、一貫して読み手に誤解されない表現となっている。	10 おおよその表現が簡潔でわかりやすい表現となっており、読み手の誤解や理解できない箇所はほとんどない。	7 表現は関係でわかりやすいことを目指しているが、読み手の誤解を招き、理解できない箇所がいくらか存在する。	5 表現に間違いがあり、意味が正しく通じない箇所が多い。
	8 章の構成	8 章立て構成（導入部や結論、本文の構成、流れ）が明瞭で、一貫してわかりやすく、効果的に内容を提示している。	6 章立て構成（導入部や結論、本文の構成、流れ）が明瞭で、一貫してわかりやすい。	4 章立て構成（導入部や結論、本文の構成、流れ）が、ある程度判別できる。	2 章立て構成（導入部や結論、本文の構成、流れ）が、はっきりしない。
60 内容	25 問題の設定	25 問題に関わる要素のすべて適切に言及し、明確で洞察力があり、独創的な問題設定をしている。	20 問題に関わる要素のおおよそに言及し、細部に言及した問題設定をしている。	15 問題に関わる要素のおおよそに言及しているが、問題設定が表面的にとどまる。	10 問題にかかわる要素の特定、問題設定は試みられているが、不十分である。
	20 問題の設定に対する内容、展開の適切さ	20 内容と展開は設定された問題に適切に結び付けられ、自説に対して否定的なものも含め関連した資料やデータが一貫して組み込まれている。	15 内容と展開は設定された問題に結び付けられており、関連した資料やデータは自説に対して否定的なものも含め、おおよそ展開に組み込まれている。	10 内容と展開はおおよそ設定された問題に結び付けられている。関連した資料やデータは自説に有利なもののみが展開に組み込まれている。	5 内容と展開と問題との関連が明確ではなく、関連する資料やデータが過度に単純化されて組み込まれている。
	10 論拠（資料やデータ）	10 十分に解釈、評価された情報源から情報を得て、総合的に分析や統合を行っている。専門家の意見と言われるものも、問題点がないか、その多くが検討されている。	7 十分に解釈、評価された情報源から情報を得て、一貫した分析や統合を行っている。専門家の意見についても、適切なものかどうか、一部検討されている。	5 ある程度解釈、評価された情報源から情報を得ているが、一貫した分析や統合を行っていない。専門家の意見は事実とみなし、ほとんど見直しを行っていない。	3 解釈、評価されていない情報源から情報を得ている。専門家の意見は一切疑問視せず事実とみなしている。
	5 図表等の適切さ	5 すべての図表が適切に作成・引用され、一貫して論旨と合致するかたちで張り込まれている。	3 おおよその図表が適切に作成・引用され、ほとんどのものが論旨と合致するかたちで張り込まれている。	2 図表が作成・引用され、本文と関係するかたちで張り込まれている。	1 図表が作成・引用されているが、根本的な問題があるか、本文との関係が明確ではない。
倫理面	(配点なし)	問題なし		問題あり	
	倫理的な適切さ	(複雑でグレーな領域についても適切な手続きを取り、解決を示している)	(必要とされる倫理的な配慮を十分に払っている)	(倫理的な配慮を行っているが、適切ではない)	(倫理的配慮を行っていない)

※ アセスメント・ポリシーの追加資料として、卒業時に学生に期待される水準を示す。

※ 作成に当たり VALUE ルーブリックを一部で参考にしている。